



太平洋と東シナ海の間には浮かぶ自然豊かな種子島は山の幸、海の幸が豊富。南方からの海流にもまれて育った魚は脂が程よくのり、あらの一種のあかじょーやあかばら、星カツオや鯖にトッピー(トビウオ)、ぶりの伊勢エビやソウリエビ、赤みがかって大きい水イカは刺身が一番！格別な旨さ。高級カニとされミソが絶品のアサヒガニ、ザコ(キビナゴ)や車エビ、アワビに似たナガラメ(トコブシ)は磯焼きでしようゆやみそと一緒に舌鼓。温暖な気候で育った甘くて美味しいドラゴンフルーツやタンカンに、今やスイーツとしても人気が高い安納芋、そ

の特産の安納芋を食べて育ったブランド豚「安納黒豚」は、脂が柔らかく旨味が最高。中種子の浜で採れるハマボウフウ・ハマゼリやあちこちに育つニガダケは、天ぷらや湯がいたりして食べられる島民のソウルフード。そして、中種子で宴会をする時は焼酎「島乃泉」が必ず飲まれる相棒的存在。中種子町の家庭や宴会では、四季折々の天然極上の食材に溢れる島の恵みを家族や仲間と語らいながら味わう至福の食卓だ。

な  
か  
た  
ね

# 天然極上の旨さに舌鼓 至福の食卓







## 消防出初式

一年の始まりを告げる新春恒例の出初式。中種子町は、県の消防操法大会で優勝するほど消防団活動が盛んな地域。商店街を練り歩くパレードから始まり、一糸乱れぬ規律訓練や実際の火災さながらに勢いよく建物に向かって放水される放水演習などが行われ、緊張感のある迫力の実演は圧巻の一言。

# 中種子 島行事

## NAKATANE EVENTS

中種子町の一年は、四季折々の美しい自然と歴史ある伝統文化で彩られる。年の始まりは町祈祷、福祭文などで一年の無病息災、豊作などを祈願。春の田植え期、青々とした稲穂が黄金色になると、いよいよ夏到来。「よいらーいき祭り」などのイベントでは、「鉄砲伝来の地・種子島」ならではの火縄銃試射による号砲で開始。夏が終わると、町民体育祭や農林漁業祭などイベント盛りだくさん。中でも願成就祭では、太鼓や唄に合わせた勇壮な踊りから奥ゆかしい踊りまで、これまで地域で守り伝えてきた郷土芸能が披露される。



## 相撲大会



## 武道大会

相撲や武道が盛んな中種子町。町主催の相撲大会や武道大会が開催され、子供から大人まで日頃の鍛錬の成果を発揮し、熱戦が展開される。



## 海開き 海水浴

毎年、7月の始めに熊野海水浴場で海開きがあり、安全祈願祭が執り行われ、子供たちの猛ダッシュで海水浴がスタートする。

## ちびっこふえあ

タネガシマンショーやちびっこが楽しめる企画が満載で家族連れで賑わう。





### よいらーいき祭り

旭町通りの商店街を中心に開催される夏の風物詩「よいらーいき祭り」と太鼓の演奏と火縄銃の射撃演武がオープニングを飾り、各地区の踊り連やみこし、町内外からよさこいチームも参加しパレードを盛り上げる。

### 町民体育祭 駅伝大会

アットホームな中でも真剣勝負の大熱戦が展開される町民体育祭や駅伝大会は、地区対抗で子供から大人まで参加。コミカルな演出や応援合戦まで見どころがいっぱいで笑いあり涙ありの大イベント。



12月	11月	10月	9月	8月	7月	5月	1月
親子ふれあい スポーツ大会	種子島相撲大会 町駅伝大会 「生涯学習フェア」町民文化祭	中種子町農林漁業祭 ふるさと交流親善ゴルフ大会 町民体育祭 中種子町相撲大会	小学校・校区合同運動会 中学校体育祭	よいらーいき祭り 各地区精霊送り ウミガメ放流体験	海水浴場 海開き 県体熊毛地区大会 各地区六月灯	種子島縦断親子 ふれあいウォーク	成人式 消防出初式 中種子町武道大会



### 町民文化祭

町の芸術の祭典である文化祭では、絵画や書道などの展示、伝統芸能や舞踊、ダンスなどの舞台発表が行われる。

### 農林漁業祭

伝統芸能と農林漁業功労者の表彰で始まる農林漁業祭。種子島の特産品から花、植木の販売に、大にぎわいの餅まきや大抽選会、子供むけの企画などがあり、一日中楽しめるイベント。



共に汗を流し

思い出を共有する

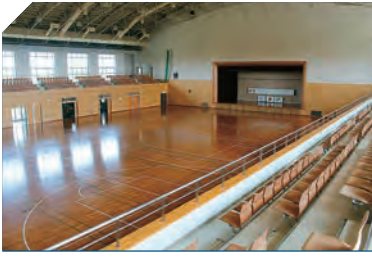
# スポーツ合宿の里



## スポーツ活動交流の促進するまち

温暖な気候に恵まれ、鹿児島市から高速船で1時間30分と南西諸島最北限に位置する種子島は、近年、年中スポーツ合宿ができる島として多くの実業団や高校などがスポーツ合宿を行い盛り上がりつつある。中種子町は、陸上競技場や野球場、体育館などを併設した「太陽の里」を中心に球技や陸上、室内競技などに最適なスポーツ施設を多数整備。充実した施設と宿泊補助など整った受け入れ制度で、スポーツ合宿を積極的に誘致し、鹿児島県内外のスポーツ強豪高校や実業団陸上チームなどがこれまで施設を利用しスポーツ合宿を行っている。





### 種子島中央体育館

1階アリーナはバレーボールコート3面分の広さ。2階の観客席(632席)に加え、1周200mの走路があり、雨天時のトレーニングなどに利用される。



### 陸上競技場

全天候型のトラックを備えた陸上競技場。町民体育祭をはじめ、実業団陸上部や高校陸上部などの合宿の練習場として活用される。



### 文化会館・種子島こりーな

本格的な音楽設備を備えた文化施設(678席)。種子島のなだらかな地形と鉄砲伝来の地であるためポルトガル語で「colina=丘」にちなんだもの。



### サンヴィレッジ(合宿所)

種子島中央武道館内にある合宿施設。宿泊室(定員100名)は、12畳(2部屋)、15畳(1部屋)、厨房や浴場も完備。社会教育活動及びスポーツ合宿に限り使用できる。



### 種子島中央武道館

種子島中央体育館に隣接し、柔道、剣道、空手道などに活用。1階は剣道場とロビー、サンヴィレッジ(合宿所)。2階が柔道場(2面)と観客席(200席)。



### 野球場

両翼92m・センター距離120mの広さの野球場で外野には天然芝。1塁側・3塁側両ベンチ付近にブルペンを備えている。



### 相撲場

種子島は相撲が盛んな島で、太陽の里(種子島中央体育館近く)にある相撲場は、町相撲大会や種子島相撲大会の会場として使用される。



### ふれあいの里(ロッジ)

木造瓦葺きのロッジ型宿泊施設。8畳2間が1棟、6畳2間が2棟あり、冷暖房のほか炊飯器や食器類などの自炊施設、風呂、洗濯乾燥機なども完備。



### 町立体育館

1階は人工芝の床で、全方向に防球ネットがはられ、ゲートボールコート2面分の広さ。2階はフローリングが施され、卓球や体操などに利用できる。



### テニスコート

全天候型(6面)のテニスコート。ナイター照明施設を備え、夜間の使用も可能(午後10時まで)。休憩所2棟の間に放送施設を備えている。



### 弓道場

野間伏之前集落にある弓道場。弓道練習、町武道大会や地区武道大会の会場として使用される。



### 流水プール

全長約116mと約80mの銀河アドベンチャースライダー(ウォータースライダー)を備えた県内最大規模の流水レジャープール。

【スポーツ合宿に関するお問合せは下記まで】

種子島中央体育館 TEL 0997-24-2226 時間 8:30 ~17:15



### 中種子町立歴史民俗資料館

サトウキビの压榨機や、「最後の丸木舟」の実物も展示。その他、約35,000年前の立切遺跡など豊富な埋蔵文化財の遺物も展示。



### 歴史の里 坂井公園



### 立切遺跡

立切遺跡では、3万5,000年以上前(旧石器時代)の生活跡や日本最古といわれる狩猟用落とし穴を発見した。



### 古市家住宅

1846年建築の種子島を代表する江戸時代末期の民家住宅。平成6年に国の重要文化財に指定。



### 日本一の大ソテツ

推定樹齢は700年以上。高さ約10m、樹長12m、根回り2mほどあり、日本一大きいといわれている。



### 増田三角山遺跡

増田三角山遺跡から出土した縄文時代草創期(約1万3千年前)の遺物364点が令和元年に国指定重要文化財に指定。



### ねじの伝来地熊野浦

日本のねじの発祥は熊野浦から始まった。室町時代の終わり1543年(天文12年)に、中国のジャンク船が種子島に流れ着いた時、当時の種子島島主が、ポルトガル人から火縄銃を2丁購入し、鉄砲が日本に伝来。1丁を刀鍛冶の八板金兵衛に与え「この火縄銃の構造を調べ、これと同じモノを作るように」と命じた。調べるとその火縄銃には「雄ねじ(ポルト)」と「雌ねじ(ナット)」が使われていることが分かり、これが日本人が最初に見たねじといわれている。ねじを作る過程で、「雄ねじ」は比較的簡単に作ることに成功したが、銃身に使われていたねじの切り方が分からずいた。しかし、翌年の春に熊野浦に南蛮船が来航、その乗組員の中にいたねじの製法を知っている人物から技術を学び、種子島で初めてねじが作られ、国産の完全な火縄銃が完成。平成30年に、熊野海岸の一角に「ねじの伝来地熊野浦」看板が種子島銃鉄砲隊により設置されました。



### 馬立の岩屋

種子島家10代島主幡時がこの洞窟で修験道術(天狗飛切りの術)の修行をしていたといわれる。1462年8月17日、この日も修行のために洞窟に入っていたが二度と帰らず、愛馬が穴の前で主人の帰りを待っていたことから、この名前がついたといわれている。



### 黒糖伝承館

中種子町では昔から黒糖づくりが盛んで、昭和30年頃までは水車を利用した黒糖づくりをしていた。その後、機械化が進んだが、昔ながらの作り方が体験できるのがこの「黒糖伝承館」。事前に予約しておけば、12月～3月頃まで黒糖づくりが体験できる。

# 次の世代へ 伝承される 歴史と文化



なぎなた踊り(増田)

## 地域に根つき未来へ伝承される郷土芸能

昔から種子島には多くの伝統的な唄や踊りがあり、民謡の宝庫といわれてきた。もちろん中種子町でも、各集落の保存会や有志によって郷土芸能が受け継がれている。郷土芸能とは、本来、神社境内で踊る芸能を指し、それぞれの集落に神社がある中種子町では、集落で受け継がれてきた郷土芸能が奉納されている。近年は、後継者不足に悩まされているが、郷土芸能の保存会などを中心に文化祭や農林漁業祭など町のイベントでも披露され、郷土芸能の保存や伝承のため積極的に活動している。



棒鎌踊り(岩岡)



新吾踊り(納官)



ひょうたん踊り(南界)



棒踊り(油久)



北之町(野間)



星原ヤートセー(星原)



# 中種子町議会



中種子町議会は年4回(3月・6月・9月・12月)の定例会で、町民の皆様へ代わり、議会本会議や委員会活動を通して予算、決算、条例などの町執行部が行う施策や重要な方針などについて議論し、出席議員の過半数の賛成で可決します。緊急時には臨時会も開かれ、住民意志を町政へ反映させます。議会の決定については、町広報紙やホームページなどで公開しています。



町長 田渕川 寿広



副町長 土橋 勝



教育長 北之園 千春



議長 徳永 留夫



副議長 園中 孝夫

## 中種子町議会議員

議席番号	氏名
1	浦邊 和昭
2	橋口 渉
3	池山 喜一郎
4	永瀆 一則
5	蓮子 信二
6	瀆脇 重樹
7	下田 敬三
8	迫田 秀三
9	日高 和典
10	戸田 和代
11	園中 孝夫
12	徳永 留夫

## 議会構成

総務文教委員会	
委員長	蓮子 信二
副委員長	下田 敬三
委員	徳永 留夫
委員	日高 和典
委員	浦邊 和昭
委員	池山 喜一郎

議会運営委員会	
委員長	園中 孝夫
副委員長	戸田 和代
委員	蓮子 信二
委員	下田 敬三
委員	迫田 秀三
委員	日高 和典
委員	永瀆 一則

産業厚生委員会	
委員長	永瀆 一則
副委員長	迫田 秀三
委員	戸田 和代
委員	園中 孝夫
委員	瀆脇 重樹
委員	橋口 渉

議会広報編集委員会	
委員長	下田 敬三
副委員長	永瀆 一則
委員	園中 孝夫
委員	浦邊 和昭
委員	橋口 渉
委員	池山 喜一郎

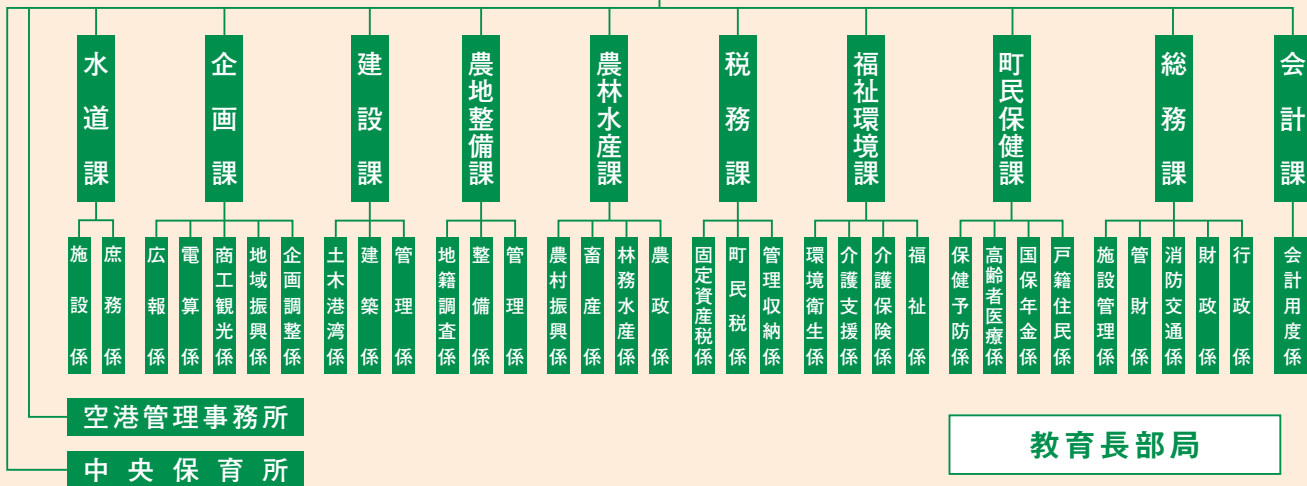


# 若い人たちが活躍する 中種子町役場

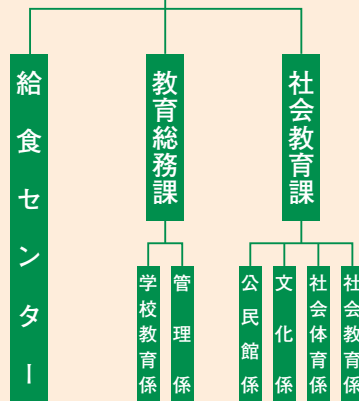


DataBook | 資料編

## 町長部局



## 教育長部局



## 一部事務組合 (熊毛管内分)

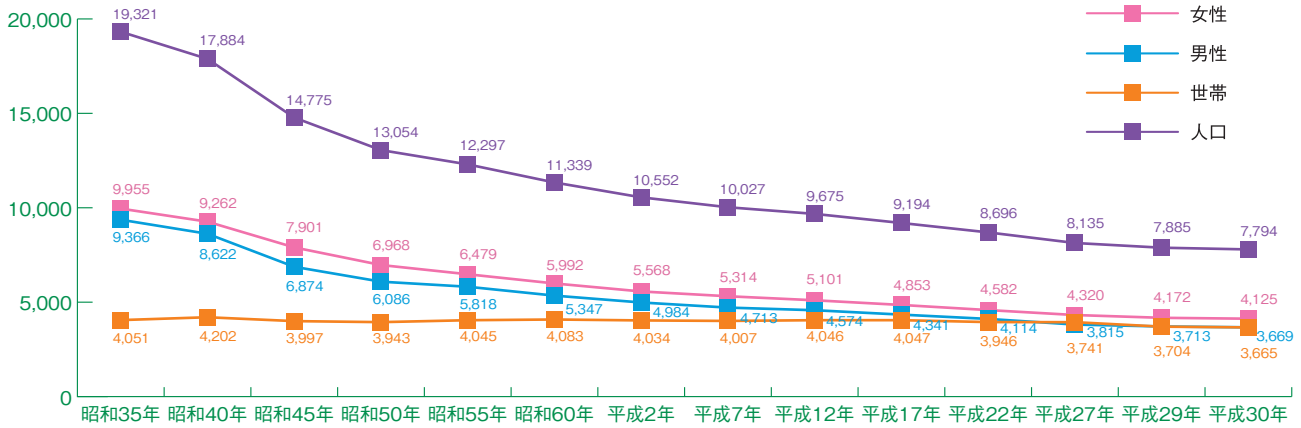
- 種子島地区広域事務組合
- 種子島産婦人科医院
- 後期高齢者広域連合
- 中南衛生管理組合

## 議会・行政・委員会

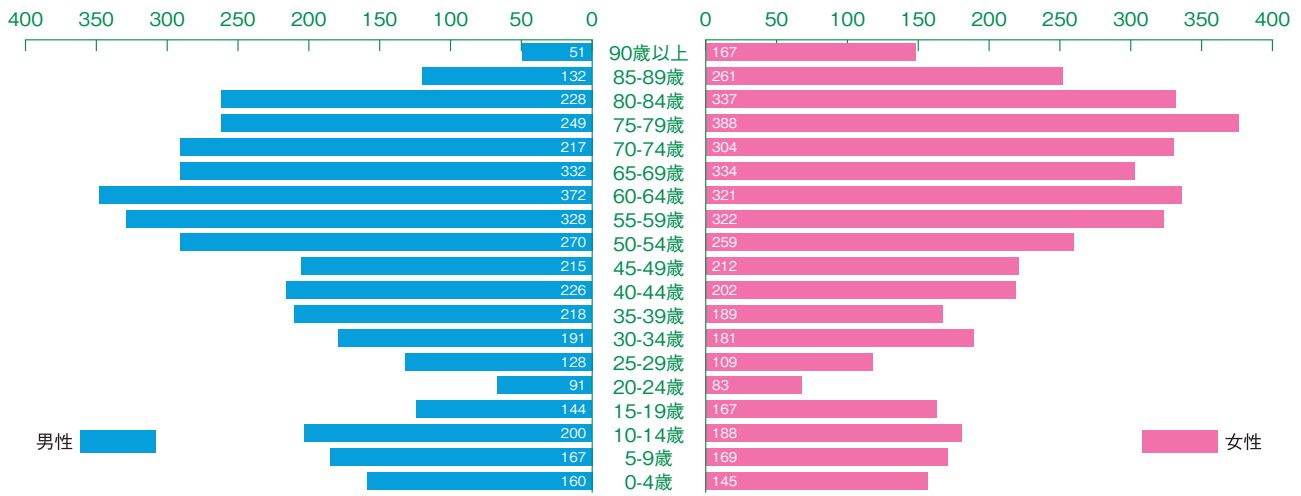
- 選挙管理委員会
- 農業委員会事務局
  - 振興係
  - 農地係
- 監査委員室
- 議会事務局
  - 議事係
  - 庶務係



● 世帯数・人口の推移



● 人口5歳階級ピラミッド 資料:平成27年国勢調査



● 集落別世帯数・人口 資料:住民基本台帳(令和元年10月1日現在)

総数:4,319 世帯数:8,138 人口:8,138 男性:3,865 女性:4,273

地区	集落	世帯数	人口	男性	女性
星原	牧川	81	129	53	76
	浜津脇	118	198	94	104
	上之城	17	32	15	17
	坂元	33	60	25	35
	竹之川	10	14	8	6
	広野	5	8	4	4
	砂中	20	31	18	13
	深久保	10	15	6	9
	計	294	487	223	264
納官	宝来	12	20	11	9
	平鍋	76	142	67	75
	原之里	83	152	72	80
	春田	45	79	37	42
	計	216	393	187	206
増田	二十番	71	125	55	70
	池之平	31	79	37	42
	秋佐野	19	35	16	19
	戸畑	4	6	2	4
	向井町	25	35	15	20
	中之町	76	146	65	81
	郡原	71	130	56	74
	古房	94	169	70	99
	計	391	725	316	409
	野間	中山	82	155	74
大平		80	144	69	75
池之向		37	81	37	44
伏之前		445	1006	471	535
松原		31	64	36	28
上方		281	533	267	266
横町		285	572	278	294
旭町		263	503	230	273
栄町		61	111	55	56
畠田		186	376	174	202
町山崎		73	127	60	67
阿曾		7	20	8	12
竹屋野		111	225	116	109
大久保		3	6	3	3
高峯		38	71	33	38
大牟礼		50	95	44	51
伊原		44	78	37	41
下田	21	42	25	17	
満足山	90	181	85	96	
阿保	2	3	2	1	
つまべに苑	49	49	14	35	
あかつき学園	50	52	27	25	
計	2289	4494	2145	2349	
油久	広ヶ野	23	32	16	16
	東之町	38	82	39	43
	女洲	24	44	22	22
	向町	43	89	41	48
	今熊野	6	7	4	3
	西之町	43	84	41	43
	美座	67	107	49	58
	西之山	39	80	42	38
	計	283	525	254	271
	南界	輪之尾	28	47	26
田島		109	190	98	92
東目		11	22	10	12
本村		91	174	75	99
中田		70	115	58	57
長谷		20	29	17	12
原尾		33	53	26	27
熊野		55	107	49	58
新町		35	80	35	45
塩屋		58	119	58	61
南界園	75	75	22	53	
計	585	1011	474	537	
岩岡	阿高磯	76	127	62	65
	屋久津	56	100	51	49
	梶潟	33	55	24	31
	衣之平	16	38	16	22
計	181	320	153	167	

## ● 歴代村長・町長

職名	氏名	就任年月日	退任年月日
初代村長	石堂 新蔵	明治22年 4月05日	明治29年11月30日
2代	石堂 直八	明治29年12月18日	明治33年12月17日
3代	石堂 新蔵	明治34年 1月08日	明治41年12月20日
4代	牧瀬 九十郎	明治42年 1月08日	明治43年08月11日
5代	日高 健助	明治43年 9月14日	明治44年12月 6日
6代	西田 伝次郎	明治44年12月13日	大正 6年 7月19日
7代	竹島 良一	大正 6年 8月 9日	大正 8年02月05日
8代	遠藤 友也	大正 8年 2月26日	大正10年12月26日
9代	竹島 良一	大正11年 1月17日	大正13年 2月25日
10代	石堂 静蔵	大正13年 4月 5日	大正15年 3月26日
11代	鎌田 嘉蔵	大正15年 7月 7日	昭和 3年 8月22日
12代	西田 新八	昭和 3年 9月22日	昭和06年 6月20日
13代	松下 齊	昭和 6年 7月21日	昭和13年 6月 4日
14代	石堂 静蔵	昭和13年 6月15日	昭和15年 9月30日
初代町長	鎌田 政義	昭和15年12月11日	昭和19年12月10日
2代	竹島 良一	昭和19年12月22日	昭和21年 1月24日
3代	古市 亀太郎	昭和21年 5月26日	昭和26年 4月04日
4代	川下 直木	昭和26年 5月10日	昭和30年 4月16日
5代	鎌田 義俊	昭和30年 5月01日	昭和46年 4月29日
6代	田代 碩市	昭和46年 4月30日	昭和54年 4月29日
7代	松下 道男	昭和54年 4月30日	平成 3年 4月29日
8代	日高 實昭	平成 3年 4月30日	平成15年 2月21日
9代	川下 三業	平成15年 4月28日	平成27年 4月26日
10代	田淵 川寿広	平成27年 4月27日	

## ● 歴代助役・副町長

氏名	就任年月日	退任年月日
岩坪 友哉	明治22年05月27日	
鎌田 幸平	明治26年10月26日	
鎌田 正助	明治28年 8月27日	
石堂 直八	明治29年12月28日	
牧瀬 九十郎	明治30年 4月 7日	
日高 藤八	明治42年 1月26日	
徳永 幸蔵	明治43年 9月30日	
竹島 良一	明治45年 4月 4日	
石堂 静蔵	大正 6年 8月25日	
西田 新八	大正 9年 2月 7日	
鎌田 嘉蔵	大正11年 3月25日	
向田 甚哉	大正15年 9月10日	昭和03年04月21日
田上 丸弥	昭和 3年 8月 3日	昭和03年09月22日
古市 国年	昭和 3年10月25日	昭和06年07月21日
園中 岩七	昭和 6年 8月31日	昭和10年07月30日
牧瀬 勇蔵	昭和10年 7月31日	
黒木 次助	昭和15年 7月31日	
鎌田 政義	昭和15年 9月30日	昭和15年12月10日
美園 鉄彦	昭和15年12月23日	昭和19年12月22日
石堂 嘉平	昭和20年 2月10日	昭和21年 5月27日
石堂 静也	昭和21年 7月15日	昭和26年 3月13日
日高 実盛	昭和26年 5月21日	昭和30年 5月20日
久木 原峯俊	昭和30年 5月21日	昭和38年 5月19日
田代 碩市	昭和38年 5月20日	昭和46年 1月08日
牧瀬 平二郎	昭和46年 5月26日	昭和54年 5月25日
馬場 三夫	昭和55年 2月25日	昭和63年 2月24日
鎌田 政光	昭和63年 3月24日	平成 3年 4月29日
柳野 忠明	平成 3年 8月05日	平成15年 7月10日
鷺見 耕造	平成15年 8月 1日	平成19年 7月10日
池田 弘	平成19年 8月 9日	平成23年 7月31日
松原 孝三郎	平成23年12月 2日	令和元年12月 1日
土橋 勝	令和 2年 4月 1日	

## ● 歴代教育長

職名	氏名	就任年月日	退任年月日
初代教育長	日高 新蔵	昭和27年11月 1日	昭和31年 9月30日
2代	古市 秀一	昭和31年10月 1日	昭和39年 9月30日
3代	原口 楠雄	昭和39年10月 1日	昭和47年 9月30日
4代	上妻 肇	昭和47年10月 1日	昭和59年 9月30日
5代	浦邊 均	昭和59年10月31日	平成 4年10月30日
6代	唐鎌 哲男	平成 4年10月31日	平成 8年10月30日
7代	羽生 昌弘	平成 8年10月31日	平成19年 4月30日
8代	中脇 努	平成19年 5月30日	平成28年 4月15日
9代	北之園 千春	平成28年 4月16日	

## ● 歴代議長

氏名	就任年月日	退任年月日
徳永 寅吉	昭和22年 5月	昭和26年 4月
岩坪 数馬	昭和26年 5月	昭和30年 4月
本鍋 田清	昭和30年 5月	昭和34年 4月
鎌田 静也	昭和34年 5月	昭和38年 4月
田代 直志	昭和38年 5月	昭和42年 4月
二階 堂幸英	昭和42年 5月	昭和46年 4月
石堂 静也	昭和46年 5月	昭和47年 5月
長深 田秀夫	昭和47年 5月	昭和48年 2月
中 豊	昭和48年 2月	昭和50年 4月
春田 静哉	昭和50年 5月	昭和54年 4月
日高 満	昭和54年 5月	昭和58年 4月
鎌田 政光	昭和58年 5月	昭和62年 4月
中村 篤治	昭和62年 5月	平成元年 4月
中村 篤治	平成元年 5月	平成 3年 4月
村尾 収	平成 3年 5月	平成 7年 4月
柳田 光宏	平成 7年 5月	平成 8年12月20日
村尾 収	平成 8年12月21日	平成11年 4月29日
有留 安夫	平成11年 4月30日	平成15年 4月29日
本鍋 田寅男	平成15年 5月 1日	平成19年 4月29日
寺田 富雄	平成19年 5月 1日	平成23年 4月29日
鎌田 勇二郎	平成23年 5月 2日	平成31年 4月29日
徳永 留夫	令和元年 5月 1日	

## ● 歴代副議長

氏名	就任年月日	退任年月日
川下 直木	昭和22年 5月	昭和26年 4月
田代 直志	昭和26年 5月	昭和30年 4月
馬場 森三	昭和30年 5月	昭和34年 4月
田代 碩市	昭和34年 5月	昭和38年 4月
鎌田 栄吉	昭和38年 5月	昭和42年 4月
池山 親志	昭和42年 5月	昭和46年 4月
長深 田秀夫	昭和46年 5月	昭和47年 5月
秋田 安義	昭和47年 5月	昭和48年 2月
秋田 安義	昭和48年 2月	昭和50年 4月
倉内 清則	昭和50年 5月	昭和54年 4月
光 義雄	昭和54年 5月	昭和58年 4月
松下 敏秋	昭和58年 5月	昭和62年 4月
提 静哉	昭和62年 5月	平成元年 4月
村尾 収	平成元年 5月	平成 3年 4月
柳田 光宏	平成 3年 5月	平成 7年 4月
西田 勉	平成07年 5月	平成 9年 4月
浜脇 時堆	平成 9年 5月	平成11年 4月29日
浦口 俊一	平成11年 4月30日	平成15年 4月29日
上妻 光義	平成15年 5月 1日	平成15年10月17日
徳永 昭久	平成15年11月28日	平成19年 4月29日
日高 健二	平成19年 5月 1日	平成23年 4月29日
松下 正治	平成23年 5月 2日	平成27年 4月29日
徳永 留夫	平成27年 5月 1日	平成31年 4月29日
園中 孝夫	令和元年 5月 1日	

## ● 歴代収入役

氏名	就任年月日	退任年月日
羽生 清十郎	明治38年 2月21日	明治42年 1月 7日
石堂 孫之助	明治43年 7月18日	
梶原 喜之助	大正 6年11月20日	昭和 3年 9月30日
日高 秋哉	昭和 2年 9月 4日	
美園 鉄彦	昭和 3年10月 1日	昭和15年 9月30日
園中 岩七	昭和 6年 7月31日	
馬場 盛永	昭和 5年12月23日	昭和30年 5月20日
浜山 祐雄	昭和30年 5月21日	昭和46年 5月19日
羽生 又雄	昭和46年 6月22日	昭和54年 6月21日
日高 茂	昭和54年 6月28日	昭和62年 6月27日
山口 次雄	昭和63年 3月24日	平成03年 4月29日
有留 早志	平成 3年 8月05日	平成15年 6月 2日

## 町のあゆみ

- 平成 11年10月 「要介護認定」申請受け付けスタート
- 10月 「園田遺跡」約1万2000年前(縄文時代草創期)石やり9本出土
- 11月 中学校統合実施委員会発足
- 12年 2月 中学校統合実施委員会が平成16年4月統合を答申
- 3月 スペースファーム種子島が第5回全国環境保全型農業推進コンクールにおいて、鹿児島県代表として入賞
- 4月 つまべに留学第2期生歓迎式
- 4月 福寿園開設40周年記念式典
- 5月 熊野漁港関連施設竣工式(浮棧橋・公園)
- 5月 全国離島振興協議会通常総会(こりーな)
- 9月 種子島公立病院建設協議会発足
- 11月 増田校区活性化施設(ベニーハウス) 区民センター落成式 建築面積528.98
- 11月 町駅伝大会で岩岡校区が20回目の優勝
- 12月 双葉スポーツ少年団結成25周年記念大会
- 12月 さとうきび精脱葉施設稼動
- 13年 3月 メクラヘビ(世界最小のヘビ) 種子島薬用植物栽培試験場で発見
- 3月 野間地区公民館落成式
- 3月 瀬浦橋完成(熊野)
- 4月 第4次長期振興計画スタート 基本テーマ:花咲く未来に人と自然が根づく町
- 4月 つまべに留学第3期生歓迎式
- 4月 公立種子島病院組合設立
- 9月 種子・屋久地方豪雨(県内観測史上最多162/時間)
- 11月 県下一周市郡対抗駅伝熊毛特別大会開催
- 12月 第29回鹿児島県スポーツ少年団競技別交歓大会 柔道競技:双葉スポーツ少年団優勝
- 14年 4月 「中種子よいらーいきスポーツクラブ」17競技でスタート
- 4月 完全学校週5日制開始
- 9月 統合中学校起工式
- 9月 中種子町自治公民館連絡協議会女性部設立
- 10月 種子島地区任意合併協議会発足
- 11月 熊野神社御鎮座550年祭
- 15年 3月 故日高實昭町長 町葬儀 於中央体育館
- 4月 中南衛生管理組合汚泥再生処理センター完成
- 5月 新種子島空港バイパス開通トンネル延長335メートル
- 6月 町指定金融機関J A 役場派出所業務開始A T M設置
- 8月 クリーンエネルギー風力発電所陸上競技場に完成
- 8月 中種子中学校校舎棟完成
- 10月 第19回県民レクリエーション祭開催 種子島地区任意合併協議会解散
- 12月 野間中柔道部、第一回サンックス旗 福岡国際中学生柔道大会出場
- 16年 1月 種子島空港ターミナルビル(株)発足
- 2月 種子島二町任意合併協議会発足
- 3月 町内四中学校(星原・増田・野間・南界)閉校
- 4月 中種子中学校開校10学級生徒数313名 スクールバス運行開始
- 平成 16年 7月 種子島二町合併協議会設立
- 17年 2月 種子島二町合併協議会解散
- 11月 シルバー人材センター設立
- 18年 3月 旧種子島空港(伏之前)閉港新種子島空港(砂中)開港
- 4月 あかつき学園、福寿園を民営化 全日本級別サーフィン選手権大会開催
- 18年 7月 さつま町と友好協定を締結
- 10月 種子島農業支援センター(TASC)始動
- 11月 「きりしま中種子会」発足
- 19年 1月 大津保畑遺跡で狩猟用として日本最古の落とし穴発見
- 7月 種子島観光協会設立
- 12月 浜津脇簡易水道拡張事業完了 坂元、竹之川地区通水開始
- 20年 1月 1市2町による公立産婦人科医院開設
- 4月 種子島中央高等学校開校
- 8月 中央分団、県消防操法大会初優勝全国大会出場(10月開催)
- 11月 中種子高等学校60周年記念式典
- 21年 8月 野間小学校校舎改築事業完成
- 10月 全国女性消防操法大会に星原女性消防隊出場(優秀賞)
- 22年 1月 町立体育館改修完成
- 3月 中種子高等学校閉校
- 4月 コミュニティバス運行スタート
- 6月 種子島空港初の海外チャーター便就航(種子島⇄台北)
- 11月 中種子町町制施行70周年記念式典
- 23年 4月 第5次長期振興計画スタート 基本テーマ:人と和と豊かな実りに新たな希望が持てるまち なかたね
- 11月 「なかたね児童クラブ」スタート
- 24年 3月 広域事務組合最終処分場完成
- 5月 町営相撲場完成
- 8月 さつま町と災害時相互応援協定を締結
- 8月 中央分団県消防操法大会(ポンプ車の部)優勝 全国大会出場9位(10月)
- 25年11月 中種子中学校創立10周年記念式典
- 26年 4月 防災行政無線デジタル化事業スタート
- 9月 中種子火縄銃保存会が結成
- 27年10月 種子島阿嶽川のマングローブ林が 国指定天然記念物に指定
- 10月 第30回国民文化祭が開催(10/31~11/15)
- 11月 増田小学校が第2回全国小学校 ラジオ体操コンクールで金賞
- 28年 5月 種子島産婦人科医院が完成
- 7月 自然レクリエーション村観光交流拠点施設が完成
- 8月 中央分団県消防操法大会(ポンプ車の部)優勝 熊野分団県消防操法大会(小型ポンプの部)優勝
- 30年 2月 種子島FM中継局開局(MBCラジオ)
- 3月 JAC種子島・鹿児島線就航60周年
- 3月 中央幼稚園閉園(51年の歴史)
- 令和 元年 7月 増田三角山遺跡から出土の縄文時代草創期の364点の 遺物が国の重要文化財に指定

## 町のあゆみ

明治 13年	野間に戸長役場設置され、野間・油久・納官・増田を直轄す 坂井は島間戸長役場の直轄となる	昭和 52年 4月	町立体育館落成
14年	坂井村、野間戸長役場の直轄となる	53年	町立歴史民族資料館落成(12月1日開館)
16年	戸長役場の廃置分合により、田島は油久より牧川は納官より分離して各1村を立つ野間戸長役場の直轄は7ヶ村となる	55年 3月	上水道第四次拡張事業完成 中央地区県営圃場整備事業完成(444ha)
17年 9月	行政改革により熊毛郡は西之表村・野間村・基永村となる	7月	町清掃センター落成
22年 4月	町村制実施 種子島は熊毛郡となり北種子村・中種子村・南種子村が誕生	56年 3月	漁村センター完成 星原中学校体育館完成
25年10月	野間郵便局開局	12月	中田地区水道給水開始
30年 4月	熊毛・馱謨郡の両郡合併して現今の熊毛郡となる	57年 3月	老人福祉センター完成 岩岡小学校・南界中学校体育館完成
36年 3月	西之表～野間の県道(中線道)開通	58年 2月	北部地区簡易水道給水開始
38年	村医を置き、一般衛生並びに学校衛生に関する一切の事務に従事させる	3月	コミュニティ防災センター完成 納官小学校体育館完成
大正 14年	浜津脇に発電所設置 中種子村に初めて点灯		地籍調査事業始まる
昭和 13年 3月	水稲早期栽培始まる 中種子村に電話開通	59年	野間中学校体育館完成 郷土出身力士大関若島津大活躍
15年11月	役場庁舎、現在地に移転	60年	中央運動公園工事着工
12月	町制施行(1日)	62年	中南広域葬苑完成
22年	6・3・3制教育制度、国民学校を小学校と改称義務教育9か年となる。星原・増田・野間・南界に新制中学校設立	63年	熊毛地区消防組合業務開始
23年 3月	中種子町青年学校廃止、新制中種子高等学校設立	平成 元年	町営野球場完成
25年 4月	中種子高等学校県立移管 町奨学金制度設立	2年	町制施行50周年記念事業
27年 2月	広報紙「中種子新報」創刊	3年	陸上競技場完成
11月	中種子町教育委員会発足	4年	全国離島交流ゲートボール大会開催
29年 3月	忠霊塔除幕	5年	温泉保養センター落成
6月	町ラジオ広報の業務開始	4月	全天候型テニスコート完成
11月	国立衛生試験所種子島薬植物栽培試験場設立	5月	本村、古市家住宅国の重要文化財に指定
12月	最初の町営空港完成	12月	「福岡中種子つまべに会」発足
32年 2月	テレビジョン視聴始まる	7年 2月	種子島こりーな落成
11月	朝日開発(株)中種子工場落成	7月	種子島農業公社設立
33年 2月	町営種子島空港松原山に完成	8月	流水プール完成
12月	種子島空港、第3種空港昇格	8年 4月	体育館・武道館建設着工
35年 4月	町立養老院開設(収容人員50名)	9年 4月	「空き缶等散乱防止」条例施行
12月	上水道完成通水	7月	町のシンボルマーク決定
37年	中央グランド完成(陸上競技場)	8月	「近畿中種子会15周年」総会
39年 8月	中央公園完成	11月	「立切遺跡」35,000年前の礫群と焼土跡、土坑が石器類と共に出土
11月	国民宿舎つまべに荘開館	9年 9月	6,300年前の噴礫層を確認(種子・屋久で15ヶ所本町でも池之向・広野・春田・輪之尾の4ヶ所)
40年 3月	ごみ処理場完成(処理能力1日5t)	12月	種子島砂漠緑化センターが坂井島ノ峯にオープン
41年 3月	町営火葬場落成家畜市場落成	10年 1月	種子島ゴミ処理広域協議会発足
6月	新庁舎落成	3月	保健センター落成(4月1日オープン敷地面積3,125、のべ床面積733.25)
10月	農林省さとうきび原々種農場開庁	4月	浜津脇熊野神社落成(25年ぶりの新築)
43年 4月	精神薄弱児施設(あかつき学園)開設(収容人員40名)	6月	「よいら～いき音頭」作成
44年	千草原県営圃場整備事業完成(258ha)	7月	フルーツ公園(ふれあいの里)オープン
45年	長野先県営圃場整備事業完成(205ha)	8月	種子島中央体育館中央武道館オープン
12月	中央公民館落成	8月	中種子の星空日本一に輝く
50年 3月	広域営農団地農道整備事業第1期工事完成(延長8,466m)	11月	「宮崎中種子会」発足
4月	県道西之表、南種子線国道となる(国道58号線)し尿処理場完成(処理能力1日30kl)	11年 3月	認定農業者協議会発足
51年 4月	養護老人ホーム福寿園改築	4月	「つまべに留学」スタート(油久小学校)
		5月	種子島中央家畜市場全面建替え
		9月	第53回県民体育大会熊毛大会開催(柔道他6種目が町内で競技)



## 町民憲章 昭和54年12月制定

わたしたち中種子町民は、美しいふるさとの自然と、誇り高い伝統を愛し、みんなの力を合わせ、限りない郷土の発展を目指してここに町民憲章を定めます。

- 一、わたしたち中種子町民は祖先を敬い互いにいたわり合い心豊かな町をつくります
- 一、わたしたち中種子町民は生きがいを求め教養を高め文化の町をつくります
- 一、わたしたち中種子町民は勤労を重んじ生産に励み活気に満ちた町をつくります
- 一、わたしたち中種子町民は若い力を伸ばし健康で明るい町をつくります
- 一、わたしたち中種子町民はきまりを守り礼儀を正し住みよい町をつくります



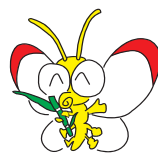
## 町章 昭和42年3月制定

円の中に中種子町の「中」の字を配し、外円は平和円満を、中の文字は町民の団結を表現するもので、本町の伝統・理想を象徴しています。



## シンボルマーク 平成9年7月制定

「明るい未来に種まく町」のキャッチフレーズをモチーフに、「中種子町」の頭文字(中)を町づくりに励む若者をイメージ。「太陽の里」「みどりの里」をハートのグリーンで表現しました。



## キャラクター「ベニーちゃん」 平成4年3月制定

町の象徴の一つ「ツマベニチョウ」が、基幹作物である「サトウキビ」をつかんだ姿のキャラクターです。着るみもあり、主に町の各種イベントに登場し、親しまれています。



## ベニーちゃんと中種子町を盛り上げる 校区キャラクター

星原「たつ☆くん」 納官「ドン太くん」  
増田「けさ姫」 野間上「のまん神」  
べにーちゃん 野間下「きび太郎」  
油久「風馬くん」 南界「焼耐力」  
岩岡「ガンちゃん」 ※左から順に記載

# 中種子町々民歌

昭和36年  
中種子町民歌制定委員会製作

一、樟の葉ずれのさわやかに

南の風の光る里

ここに楽土の夢をおい

むすぶ二万の玉の汗

ああ力あれ中種子町

二、ゆたかな土と人の和と

祖先のいのち住むところ

道ひろびろと野はひらけ

文化の翼とびかよう

ああ躍進の中種子町

三、あすを呼ぶ声村々を

流れる唄に山彦に

とがまも光れ土も湧け

いま建設の意気たかく

ああ意気たかく中種子町



町花「ゲットウ」



町花木「フヨウ」



町木「ウバメガシ」



町蝶「ツマベニチョウ」





# Too Kind

やさしすぎるくらい、やさしい なかたね

中種子町 町勢要覧 2020

企画・編集・発行

鹿児島県中種子町役場 企画課 広報係

〒891-3692 鹿児島県熊毛郡中種子町野間5186番地

HP <https://town.nakatane.kagoshima.jp/>

印刷 寺田印刷 〒891-3604鹿児島県熊毛郡中種子町野間5187-1

